

銅・アルミ

市況見通し

12月

銅

10月の伸銅品生産は、前年同月比で6%減の5万9289トとなり23カ月連続で前年同月に比べて減少した。10月公表値にも、こうした関連の伸銅品を中心に一部前年同月実績を上回る品種が増えてきた。一方、工事関連の機器は需要の回復が遅れている。

10月の伸銅品生産は、前年同月比で6%減の5万9289トとなり23カ月連続で前年同月に比べて減少した。10月公表値にも、こうした関連の伸銅品を中心に一部前年同月実績を上回る品種が増えてきた。一方、工事関連の機器は需要の回復が遅れている。

同61%増の5万694ト、銅スクラップが同36・8%増の3万4456ト。輸出は米中における景気の回復期待（需要増）から共に増加した。銅輸入は、電気銅が同8・7%減の1194ト、銅スクラップが同9・8%増の1万1907トだった。輸入は想定よりも国内生産が落ちてないことから、スクラップが増加し電気銅が割高感から減少した。

銅スクラップ 景況予想

銅スクラップ 景況予想

アルミ

アルミスクラップ 景況予想

品別では銅条が2万1583トで同3%増（6カ月ぶりに前年同月を上回る）、銅管が8278トで同8%

銅建値は75万円から84万円まで上昇した。このため、流通在庫の玉は潤沢。

10月のアルミ圧延品生産量（板類・押出類合計）は0・9%増の16万2927トとなり15カ月ぶりに前年同月を上回った。生産量は板類が同5・6%増の9万8892ト、押出類が同5・7%減の6万4035トだった。

10月のアルミ圧延品生産量（板類・押出類合計）は0・9%増の16万2927トとなり15カ月ぶりに前年同月を上回った。生産量は板類が同5・6%増の9万8892ト、押出類が同5・7%減の6万4035トだった。

橋本アルミ取締役

橋本 健一郎氏レポート



12月銅市況予想レンジ

LME銅セツルメント	7000~8000ドル	強い
電気銅建値	77~89万円	強い
為替（1ドル）	104~106円 (1カ月間TTM)	弱い

12月アルミ市況予想レンジ

LMEアルミ 現物後場買い	2000~2200ドル	強い
スクラップ	プラス5円~10円 (前月最終価格より)	強い
為替（1ドル）	104~106円 (1カ月間TTM)	弱い

LME銅・為替予想
今月は欧米口のコロナ2次合金・同合金地金

10月のアルミニウム

流通在庫はLME価格が2千ドル突破と100ドル上昇していることや発生減から前月同様に売り惜しみモードが予想される。